

Yamaha News

ヤマハニュース 1994 No.369
M A Y

5 月号



表紙写真は専門誌広告と連動しています

特集 ■ ネイキッド400ccクラスの人気に迫る

代替から新規へ 広がるXJR400の潜在需要

特集 ■ ネイキッド4000ccクラスの人気に迫る

広がる 代替から新規へ

XJR 400の 潜在需要





特集

ネイキッド400ccクラスの人気に迫る

今年2回目の「ヤマハフェア」を4月15日～24日に開催。これを契機に店内のレイアウトを変更し、やる気満々の営業スタッフ。写真右が大坪政俊社長、その隣が営業陣の指揮を執る木代雅敏営業部長



総勢80名の『試乗ツーリング』に店頭『ヤマハフェア』……成功店のノウハウを一挙公開!!

導入から2年目を迎えたXJR400。すでに空冷ナンバーモデルとしての確固たる地位を築いているが、追い風ムードの中で「なぜかウチの店では売れない」「出足は良かったけど…」という悩みの声も聞こえてくる。「売れるお店」と「売れないお店」、どこに違いがあるのだろうか。ネイキッドモデルの需要形態そのものに変化の現れ始めた今だからこそ、成功店のノウハウに耳を傾けてみたい。

(株)モト・ギャルソンさん

東京都武蔵野市木代雅敏営業部長に聞く

新規購入者が8割のネイキッドはエントリーカテゴリー?

月刊オートバイ誌5月号の特集記事、「人気ネイキッド二十番勝負/今買いのマシンはこれだ!」に代表されるように、今もつとも話題性の高いカテゴリーといえは間違いなくネイキッド400クラスだろう。すでに市場ではネイキッドリストタンダードバイクという認識が定着した感さえあり、専門誌も「ネイキッド400を取り上げないと部数を稼げない」と言われる時代である。

今回お伺いした東京都の「モト・ギャルソン」さんの店内にも、こうした時代を映すかのように各社のネイキッドモデルがズラリと肩を並べている。

まず、ネイキッド市場の現状について、木代雅敏営業部長に解説していただいた。

「大雑把に言いますと、カジュアルにバイクと付き合えるライダーがネイキッドモデルを選んでるように思います。い

く少なくなくなったとは言え、性能至上主義のライダーはまだレプリカモデルを選んでますからね。バイクらしさとか男らしさとか、ネイキッドにそんなイメージをつけているのは業界サイドだけで、ユーザーからすると、「これがツウのバイクなんだ」という印象ではないでしょうか。だからネイキッドのお客さんはひとつには括れないし、逆に言えば幅広いライダーに買ってもらえるカテゴリーだと思えます」

同店の場合、XJR400購入者の8割が新規のお客さま。免許取り立ての飛び込み客が大半を占めるという。これはXJRに限らずネイキッド全般について言えることだそうだ。

「たとえばカスタムを例に挙げると、確かにそうしたバイクの楽しみ方をする人もいますが、全体の中からはほんの一部なんです。第三京浜が話題となったり、雑誌に大きく取り上げられたりするからネイキッドのお客さんはみんなイジってるように思われてますが、それは

株モト・ギャルソン本店

東京都武蔵野市中町2-4-17 ☎0422(55)3800



今年1月に、都内に3店あったお店を2店に統合し、新装オープンしたフレッシュなお店。交通量の多い井の頭通りに面した店舗は、ダイビングショップを併設するなど話題性も高い。店頭の企画フェアや定期的なツーリングイベントを精力的にこなすスポーツバイクの中心の併売店。

ネイキッド400ccクラスの人気に迫る



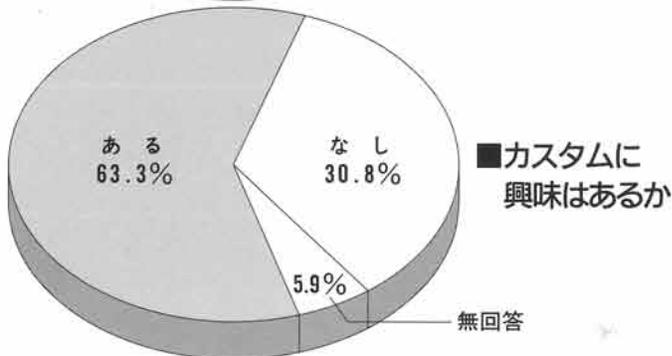
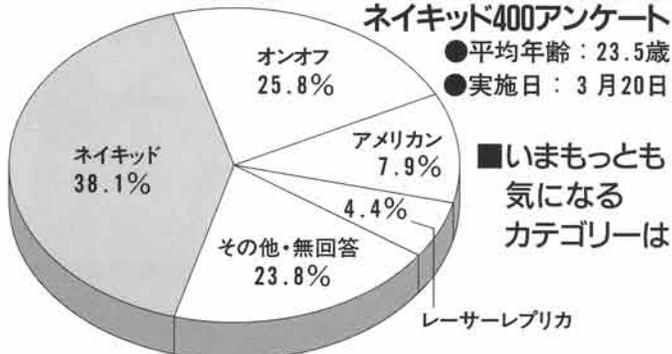
錯覚です。フツターのバイクをフツターに乗っているのがネイキッドユーザーの現実の姿です」

木代部長によると、一般的に認識されているネイキッドユーザーの特性には、偏りが見られるという。クロスアッブされるのは話題になりやすい一部分だけで、実際のユーザーは質も使い方も認識とは違うようだ。

「誤解してほしくないんですが、極端に言えば（ネイキッドは）エンストリーカテゴリーと言えちゃうんです。実際、空冷か水冷かの区別がつかないライダーがXJRを指名してくるワケですからね。ヤマハファンもホンダファンもな。ただフツターの形をしたバイク（ネイキッドモデル）の中で、自分が一番カッコいいと思うものを買う。これが現実なんですよ」

東京モーターサイクルショーで聞いた ネイキッド400アンケート

●平均年齢：23.5歳
●実施日：3月20日



ヤマハ担当セールスマン三角主任（左）とフェアの企画を練る木代部長。ニューモデルのXJR1200、TT250Rレイドとともに、やはり軸はXJR400だ

新規需要が見込める現在は ヤマハファンを育てる勝負どころ!!

「モト・ギャルソン」さんでは、今年3月21日〜31日にかけて「ヤマハフェア」と銘打ったキャンペーンを展開し、大きな成果をあげている。もちろんXJR400が主役のキャンペーンだ。

期間中は間口いっぱいヤマハのラインナップを陳列し、またのぼりやポスターで店内を華やかに飾りつけることでお客さまの動員を図った。ちょうどXJR1200の導入タイミングと重なり、話題性も高まったという。



モト・ギャルソンさんに限らず、エントリー層の構成比が伸びているネイキッド400クラス。この傾向はますます強くなりそうだ。

「今、ネイキッドの商売というと、正直言って待ちの商売なんです。ただ、こういう仕掛けを打つとレスポンス良く反応が返ってくるんですから、潜在的な需要はまだあるでしょう。特にXJRの場合、商品の完成度は高いという評価が市場の認識にありますから、動けば必ず返ってくるように思えますね」

それでは、その仕掛けの具体的な例は？

「これは代替えのお客さんに向けてのアプローチなんですが、うちでは毎年2回、ビッグツーリングというイベントを組んでいるんです。1泊2日で80人くらいが参加する大規模なツーリングで、ここに試乗車を持って行きます。去年、四万温泉に行った時はXJRを4台持って行きました、その時乗ったお客さんのうち4人が買い替えてくれました」

もちろん、2日間お店を閉めて行なうイベントだけに、無駄にしないための用意は周到だ。顧客リストや修理伝票から代替え時期のお客さまを洗い出し、積極的にツーリングへと誘う。そのお客さまには当日も優先的に車両をまわし、XJRの走りをベストと思えるロケーションの中で堪能してもらおうというわけだ。これだけの仕掛けと準備があれば、一回のツーリングで4人の成約者が出ても不思議ではない。

「先程も話しましたように（ネイキッドモデルを選ぶ）大半のお客さんは、一般的に認識されているほどメーカーや機種、エンジン形式などに思い入れがないと思うんです。だから初めて買ったバイクのファンになるし、メーカーのファン



特集

ネイキッド400ccクラスの人気に迫る



フェア期間中はヤマハニューモデルが店頭をかざった、店内のお立ち台はもちろんXJR400が引き受ける

になるんですね。
ということはですよ、今新規のお客さんにXJR400を売るのは、目先の商売だけじゃなく、将来のヤマハファンを育てることもつながると思うんです。その他にも400ccクラスがフツのバイクに位置づけられることで、車検をはじめサービ部門の売り上げ向上が見込めますから、現在のスポーツ市場はまさに勝負どころと言えるでしょうね」

ネイキッドの新たな価値観 「誰でも乗れる」「誰にも売れる」

さて一方、一般のライダーはネイキッド400ccクラスをどう捉えているのだろうか？ 3月19〜21日に東京晴海国際見本市会場で来場者に取材をしてみた。詳しい内容は別掲のデータを御覧いただくとして、ここでは代表的な意見を取り上げてみる。

●「雑誌で特集を組んでいたりと、つい買ってしまう。特にネイキッド同士の比較テストはおもしろい。どれも同じようなカタチをしているけど、どれが速いかはやっぱり気になる」
(東京都・牧原和則さん・21歳)

●「ここにもたくさん並んでいるけど、カスタムバイクには興味がある。自分だけのバイクを造ってみたい、という気持ちはバイク乗りなら誰でも持っていると思う。ただ、お金がないから自分ではやらない」
(東京都・園田耕一さん・24歳)

●「レーサーレプリカは個性がなくて嫌いだった。その点ネイキッドモデルはどれも個性的。町中で乗るならネイキッドを選ぶ」
(東京都・嶋田洋明さん・19歳)

●「普通の服を着て乗れるのはネイキッドかアメリカンくらい。いつか限定解除したらXJR1200に乗りたい。今日はカスタムパーツを見に来た」
※XJR400所有
(神奈川県・原田浩司さん・21歳)

インタビューした場所が場所だけに、カスタムへの興味はかなり多くの来場者から聞かれたが、木代部長が話されていたとおり実際に自分のバイクをイジっているライダーはほぼ皆無だった。「興味はあるがお金がない」という意見が大半を占めている。

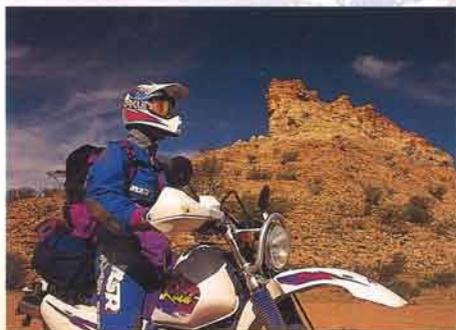
またスタンダードバイクと捉えられているためか、アンチ・ネイキッド的な意見がないのも印象的で、この点でレーサーレプリカブームと異なる感がある。イメージ主導のネイキッド人気から脱し、あらたなオールマイティークатегoryへ成熟しつつあるのだろうか。



ヤマハ東京主催の試乗会でも、低年齢層、特に高校生の試乗希望者がXJR400に殺到。ネイキッド400=スタンダードバイクの図式が見てとれた

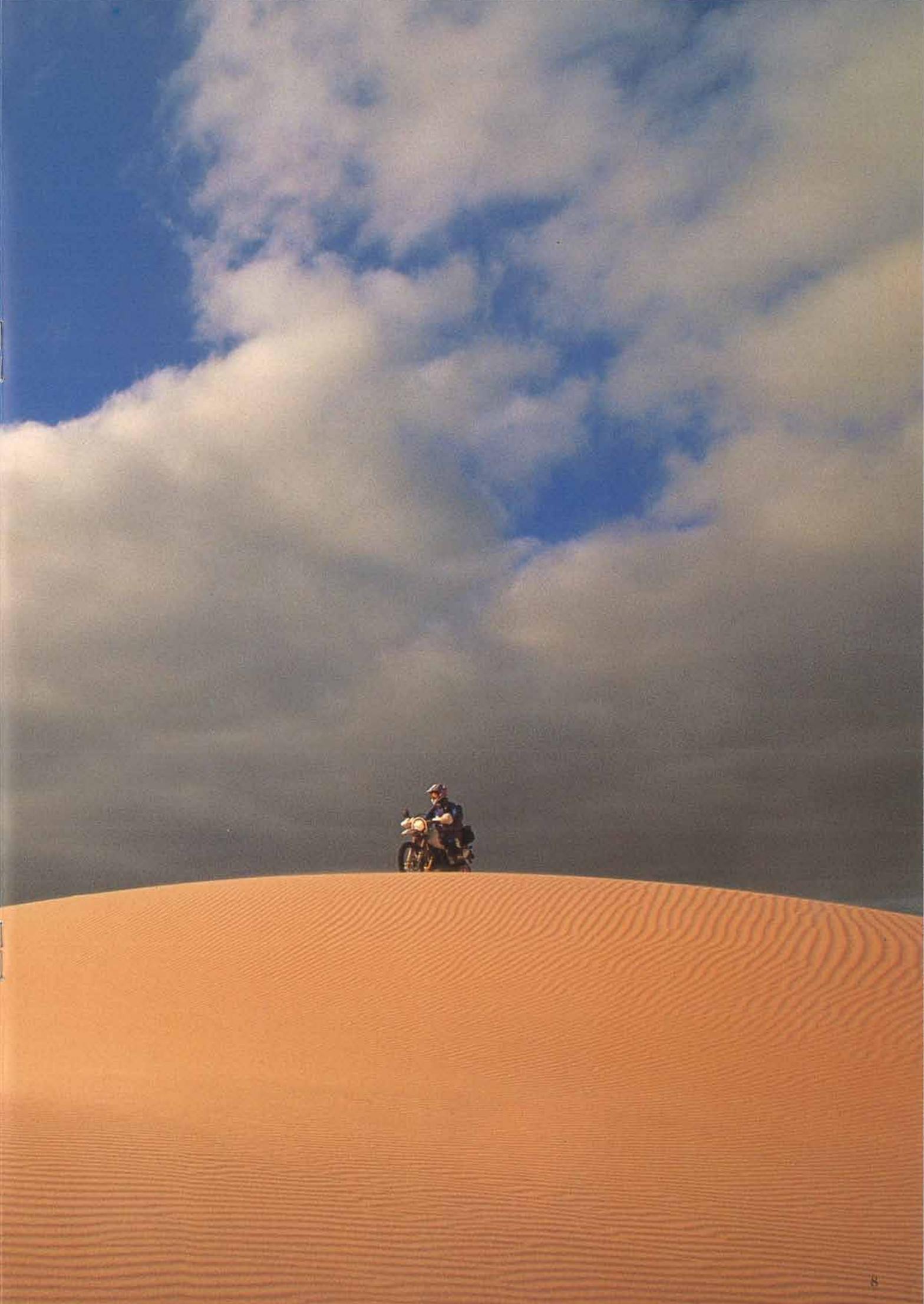
TT250R Raid in Australia

熱き大地を駆る



魅惑の大地オーストラリア
激走4600キロ“TTレイド”の旅
いま注目のレイドが
本領を発揮したひとコマを
おとどけしよう 文・鹿島孝之





オーストラリア特有の赤い砂ほこりを
まきあげてレイドを走らせる。視界の前
は延々と続くグローバルロード。緊張と
興奮。そのボルテージは120%だ。

すっばりと僕を包みこんだ大自然は、
まず水とガソリンの大切さを教えてくれ
た。そして風と大地の温度を皮膚にビリ
ビリと伝えてくれた。僕とレイドに降り
そそぐ流れ星。圧倒的で広大な風景と一
体になれる感動……。ことが見つけられ
ず「すばらしい」となるのみ。

空気はカラッと軽く、熟睡を誘い、ラ
イディングの疲れをすっきり吸い取って
くれる。「今日も元氣イッパイだ」とセル
を回す。すでに最高の相棒になっている
レイドが武者震いする。

魅惑的で幻想的な砂漠。アリ地獄のア
リになった錯覚におちいってしまう。「ウ
ォー」と僕は腹の底から叫んでしまっ
ていた。

ほほに当たる風が変わる。湿り気を含
んできた。最終地（海に出会うこと、と
決めていた）は近い。レイドを急がせる。
レイドと共に駆けたオーストラリアは、
感動の嵐となって僕を受け入れてくれた。
この体験は宝だ。あなただって、レイド
となら自分だけの宝物を見つけ出すに
ちがいない。

備えあれば……
雨中を快適に走るYAMAHAのレインギア



新素材U-PIXで軽量コンパクト

RY-733レインスーツ ¥7,400

	部品番号	サイズ	カラー
A	90792-7601	M/L/X/3	ピーコックグリーン/パープル
B	90792-7602	M/L/X/3	パープル/ピーコックグリーン
C	90792-7603	M/L/X/3	フラッシュイエロー/パープル
D	90792-7604	M/L/X/3	ネイビー

- 素材/
表地：U-PIX
(ナイロン100% U-PIXラミネート)
裏地：ポリエステルハーフメッシュ
- 強力な防水機能を備えながらコストパフォーマンスも実現した着ごこちの良いレインスーツです。ツーリングをはじめ、アウトドアスポーツにも欠かせないアイテムです。

やっと春本番、ツーリングの季節を迎えたと思ったら、もう梅雨が目前です。ライダーにとってはウツウしいばかりの雨ですが、防水対策をしっかりと行なっていれば、雨もまた楽し……完全な装備は安全にも大きく寄与します。機能充実、デザインも豊富なヤマハのレインギア。レインスーツ、ブーツカバー(A Y-234)レイングローブ(Y L-441)をお客さまにおすすめください。

テクノロジーの結晶

特長：

熱安定性に優れた完全合成油（エステル系）をベースに、清浄性、高温清浄性及び耐焼付き性において極めて優れた性能を発揮。長時間に渡り高い潤滑性を保持し、フリクションロスの低減によりエンジン出力の向上を図ります。使用にあたっては、車種、条件を確認してご使用ください。



2ストロークレーシングオイル

YAMALUBE 2-R

ヤマルーブ ツーアール

¥4,000/1ℓ

部品番号：90793-30108

ヤマハ伝統の2サイクルエンジン・レーシングテクノロジーにより培われた、豊富なデータとノウハウを結集した100%化学合成2サイクル混合専用オイル「ヤマルーブ2-R」。あらゆるコースコンディションに適合し、安定したエンジン出力の向上を図ります。

特に、TZR250R-SP、YZ80/125/250、TY250Z、WR250Zには相性も抜群。ぜひおすすめください。

INFORMATION

SERVICE

お客さまの高い信頼を得るコツは
常にサービス力の向上を忘れないこと

ツーリングシーズンたけなわの季節になりました。ゴールデンウィークや夏休みに、バイクで出かけるお客さまもきっとたくさんいらっしゃるでしょう。

そうした楽しみを、しっかりしたメンテナンスでバックアップしてあげることは、お店にとって最も大切なアフターサービスのひとつ。旅先でトラブルが出たりしないよう、ぜひお出かけ前の点検をおすすめください。

もちろんそのためには、確かな技術を備えたサービススタッフが不可欠。日ごろから『ヤマハ二輪整備士講習会』を活用し、より充実したスタッフの養成に努めましょう。

また、高いサービス力はお店の信頼性をアピールする、絶好の広告素材です。Y.T.S. (ヤマハ・テクニカルサービス・スター) 資格をはっきり表示す

るなど、お客さまの関心を引く工夫をしておきましょう

●YTSヤマハ二輪整備士講習会

月	5月	6月
北海道		
ヤマハ東北		2 M 仙台
ヤマハ東京	B 4 M 24-26	B 2 M 2 M 2 M 7-9 14-16 21-23
ヤマハ中部		2 M 4 M 7-9 22-24
ヤマハ関西	B 2 M 24-26	4 M 2 M 7-9 21-23
ヤマハ中国	B	2 M 2 M 16-18 21-23 岡山
ヤマハ四国		
ヤマハ九州		2 M 8-10

B/ベイスンク 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター
※都合により、開催変更および中止となる場合があります。また、日程のないものは各営業所へお問合せください。

AD

5月のヤマハ提供番組

■ヤマハONアンドOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数々をご紹介します。番組です。

巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマインドたっぷりにお届けします。

テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日24時40分から24時55分。東北放送/毎週土曜日24時45分から25時。テレビ新広島/毎週木曜日24時50分から25時05分。

- ▶ 5月7日 (MC編)
- 『T.T-Rレイドに試乗/ウィリー松浦』
- ▶ 5月14日 (マリン編)
- 『旦那衆の屋形船』
- ▶ 5月21日 (MC編)
- 『スーパーバイカーズ IN FISCO』
- ▶ 5月28日 (マリン編)
- 『進水式 密着24時』

■'94世界グランプリロードレース

昨年、原田哲也のGP2チャンピオンという、すばらしい成果を得たヤマハは、今年も強力なマシンと才能あふれるライダーを擁し、世界GPにチャレン

ジします。

GP2の連覇はもちろん、GP1の王座奪回、ブランニューTZ125の活躍が期待されるGP3など、各クラスにわたって話題も盛りだくさん。1戦たりとも見逃せない、スーパーバトルにご期待ください。

TXN系列全国ネット・毎週日曜日24時30分から25時25分。

■オリジナルコンサート

私たちの創った世界 世界各国で精力的に活動が続いている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演のコンサート模様をお届けします。

日曜の朝をすがすがしく彩る新鮮な音楽の響きをゆっくりとお楽しみください。

テレビ朝日系全国ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。

■ぼっぴん王国(ラジオ)

ミュージックスタジアム 10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリズムたっぷりのラジオ番組です。毎週月曜と火曜、それぞれ切り口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。ニッポン放送他16局ネット。

Y.E.S.S.

自工会が8耐の特別チケットを販売
応募締め切りは5月31日



社日本自動車工業会では、今年もバイクのイメージアップ活動『人とバイクの友好生活'94』キャンペーンを展開していますが、その一環として鈴鹿8時間耐久レースの特別観戦チケットを斡旋販売しています。

このチケットは、7月28日~31日まで4日間有効で、観戦席はピット上のホスピタリティブース。テレビ画面以外では間近に見ることのできないピット作業も、ここからならバッチリ。一般には販売されない特等席です。

また、このチケットさえあればパドックへの入場、ピットワーク参加も可能なほか、オフィシャルプログラムやリザルト速報、ドリンク(30・31日のみ)のサービスも受けられます。

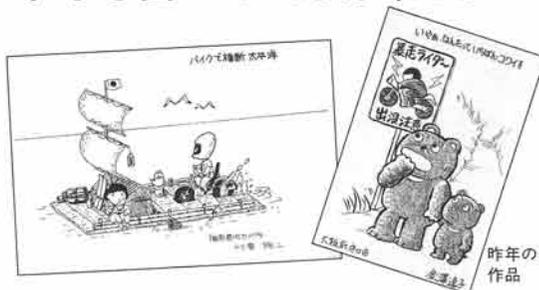
ぜひお客さまにご案内ください。販売は2名1組のペアで50組限定。応募多数の場合は抽選となります。

なお、当日はY.E.S.S.をはじめHART、KAZE、JAJA-UMAC CLUBの合同イベントも開催されます。

■8耐特別チケット

料金：50,000円(2名ペア)
申込方法：往復はがきに代表者1名の住所、氏名、年齢、電話番号、所属クラブ名(Y.E.S.S.)と会員番号を明記のうえ、下記まで郵送。
宛て先：〒107 東京都港区赤坂郵便局 留 人とバイクの友好生活'94事務局 「8耐チケット」係
問合せ：☎03-3584-0993

Y.E.S.S.ナイスライドキャンペーン『セーフティコンテスト』
今年も奮ってご応募ください



ライダーのみなさんをはじめ広く一般の方々に、バイクの楽しさや安全運転の大切さをじっくり考えていただくという行なっている『Y.E.S.S.ナイスライドキャンペーン・セーフティコンテスト』の作品募集が、今年も6月1日から始まります。

このコンテストには、毎回大変な力作が多数寄せられ、その反響は年を重ねるごとに広がるばかり。本年度は「Y.E.S.S.大賞」に加え、Y.E.S.S.スタッフの応募が多かったお店に対し「Y.E.S.S.ショップ賞」も設けています。

■第7回Y.E.S.S.二輪車 セーフティ「1枚の絵」コンテスト
募集内容：「二輪ライダーとしてのセ

ーフティマナー」をテーマにしたまんがまたはイラスト
応募資格：どなたでも応募できます。応募方法：官製はがき裏面に、1枚につき1作品1コマを描いてください(タテ・ヨコ自由)。

表面には宛て名、自分の住所、氏名、年齢、職業、電話番号、コンテストを知った広告や場所(Y.E.S.S.メンバーは会員番号も)を記入。
グランプリ賞典：30万円※グランプリ作品入りトレーナーも1000名にプレゼント
宛て先：〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株内 Y.E.S.S.本部事務局第7回二輪車「セーフティ「1枚の絵」コンテスト」係

モトクロスにフランチャイズ制？ 田島久選手に地元応援団発足

チームYZより全日本モトクロス選手権・国際A級250ccクラスに参戦している田島久選手（'94年ゼッケン8）に、地元ファンによるサポーターズクラブが結成されました。

クラブ発足の音頭を取ったのは、田島選手が育った「YSP藤沢レーシングファミリー」の面々。代表であるY

SP藤沢・山本社長の協力により、メンバー募集を行なったところ83名が集まり、今回の発足となりました。

クラブ最初の活動は、全員がヤマハの「スーパーマーキングブルゾン」をユニフォームとして購入し、その収益金を田島選手の活動援助金として手渡すこと。3月13日（日）に行なわれた発足パーティはその贈呈式も兼ね、援助金を受け取った田島選手は「今年はゼッケン5番を目標に、みなさんの期待に応えるようガンバります」と力強い言葉。

同クラブでは今後、モトクロス応援バスツアーなどを予定しており、この活動を通して一般ライダーへのモトクロス普及を図っていきます。



ユニフォームのヤマハ「スーパーマーキングブルゾン」はすべて田島選手がクラブ員に手渡した



スクーターライダーからビッグバイクオーナーまで、幅広いメンバーが集まった

名スキッパーR・フィールドが見た F1とヨットレースの共通点は ハイテクにあり！

今年のF1開幕戦・ブラジルGPに参戦していた「ティレルヤマハチーム」のバドックに、ホイットブレッド世界1周レースにYAMAHA号で挑戦中のロス・フィールド艇長が訪問。

第5レグのスタートを控えて滞在していたウルグアイから駆けつけたR・フィールド艇長は、土曜の予選と日曜の決勝をゲストとして観戦しました。「信じがたいほどすばらしい週末だった。本当に楽しい思い出をしたよ！」と5位に入った片山右京選手を祝福していましたが、バドックで見たハイテク機器の数々にも興味津々。「こうしたテクノロジーの重要性は、ヨットレースの世界と同じだね。我々



「モータースポーツに転向しようと思ったけど、困ったことに、マシンにどうしても体が入らないんだ」と苦笑い

はモータースポーツから学ぶべきことがあるし、逆に彼らから我々から学べるものもあるだろう。例えば、ホイットブレッドで導入している天候情報システムだ。人工衛星から直接情報を引き出し、正確な予測ができるので、タイヤの選択とかマシンのセッティングにすごく役立つんじゃないかな」とアドバイスを贈っていました。

ナイスライド募金を応援 オートバイ国際ラリー・ チャリティー写真展

ヤマハTT600を駆り昨年エジプトで開かれたファラオラリーに参戦し、日本人で唯一の完走を遂げたアマチュアライダーの下出鋼一氏（43歳）の写真展が、4月8日から4月12日に渡り静岡市の市民文化会館で開催されました。

この写真展は一般の人たちに広くモータースポーツの世界を理解していただくことと、下出氏の両親が身障者であったという生い立ちから「身体の不自由な人たちがもっと外に出られるようにお手伝いしたい」との2つの願いを込めて開催したものです。

桜満開の休日と重なったため花見の名所でもある会場周辺には多くの人出があり、写真展は大盛況。後援のY.E.



写真展の開催は地元紙の「静岡新聞」や「SBS静岡放送」でも告知され、家族づれや主婦など多彩な来場者を集めた

S.S.本部事務局が設置した「ナイスライド募金」箱にも総額19万円もの募金があり、写真展は大盛況。後援のY.E.



シュミットはまずライバルを1歩リード。しかし、4月24日の第3戦から毎週の4連戦が待っている

って毎年厳しいレースになるが、うまいスタートが切れたおかげでポイントを確保することができた。長いシーズン、こういうレースで取りこぼさないことが後々大きな意味を持つはず。まずは順調だね」とシュミット。熾烈なチャンピオン争いが始まりました。

表彰台が見えてきた ティレルヤマハ 右京いきなり ポイントゲット！

ロードレース世界選手権と同じ3月27日に開幕したF1世界選手権。その第1戦ブラジルGPで、ティレルヤマハチームの片山右京が5位入賞を果たしました。

ニューマシン「ティレルヤマハ022」の高い戦闘力と完成度に、大きな信頼を寄せていた右京は、予選で自己最高の10位と、上々のすべり出し。

しかし、バンビーネ路面と高い気温、そして今年から始まるレース中の給油作業など不安要素もある開幕戦。緊張からスタートでクラッチミートを失敗して順位を下げ、さらにウインドスクリーン破損や水分補給パイプの不調



第2戦・パンフィックGP（T1サーキット/岡山）では右京、ブランデルとも無念のリタイア

などのトラブルに悩まされました。それでも、一時は4位までポジションをアップさせる力走。最初のピットインでタイヤ交換に手間取り、13位まで下げたものの、「クルマを信じて1台ずつ抜いていこうと思った」という右京は、しだいにラップタイムが落ちていく他車を尻目にトップと変わらぬ

タイムをキープし、再び入賞圏へ。そしてラスト4週のホームストレートではヴェンドリンガーをパス。右京自身初の入賞を5位で飾りました。なお、同僚のマーク・ブランデルは惜しくも途中リタイアとなりましたが、昨年3位入賞経験もあるドライバーだけに、今後の活躍が楽しみです。

「ロングツーリングにいいね！」 TT250Rレイド プレス関係者から絶賛の声

アウトドア志向が続くスポーツ・レジャー市場に対し、このたびヤマハは人気のTT250Rをベースに、「アドベンチャースピリット」あふれるニューモデル「TT250Rレイド」を新発売しました。

すでにみなさんの店頭を飾り、お客さまとの商談も進んでいることかと思

いますが、この発売に先立つ3月15・16日には、伊豆半島で二輪専門誌対象の試乗会を開催。17媒体75名のプレス関係者の出席を得て、じっくりその性能、商品性を試してもらいました。

今回の試乗は、TT250Rレイドのイメージに合わせ、チェックポイント通過にゲーム性を持たせた「マイベースレイド」という形で実施。

コマ地図片手にロングランを試した参加者のみなさんは、「1日8時間走っても疲れない快適な1台」「大きなタンクやライトが気に入らない、軽快なハンドリングに驚いた」「長い旅に出ようという気にさせてくれるバイクだ」など、とりわけ走行性や乗り心地のよさに高い評価を寄せていました。



走行性能はTT250R譲り。「断絶的に攻めさせる過激さは薄れたものの、十分にTTらしい」

カスタムバイクがズラリ350台 モーターサイクルショー大盛況！！

3月19～21日の3日間、東京晴海見本市会場で開催された『第22回東

京モーターサイクルショー』。連日好天に恵まれて、合計10万人を超えるバイクフリークで賑いました。

このショーの見どころは、各社のニューモデルはもちろん、オーナーが手塩にかけて造ったカスタムバイクがズラリ揃うこと。今年も全国から350台以上のカスタム車が出展され、来場者の熱いまなざしを受けていました。

特に発売間もないXR1200やXR400をベースにした車両が目立ったほか、期待のニューフェイスTT250レイドにも来場者の視線が集まっていたようです。



ニューモデルが並んだヤマハブースは連日大盛況

1歳半でも即戦力 三代目の笑顔は 店のカンバン

香川県高松市の『モーターサイクルサービスおかむら』さんは、お店の宣伝のために毎月地元タウン誌に広告を出していますが、そのCMキャラクターとして活躍しているのが三代目・岡村颯(はやて)くんです。

2月は節分の鬼の面をかぶって、3月は木の芽が芽吹く様子をイメージさせる帽子をかぶって(写真)、はい、ポーズ！

「はくハヤテです。アブリオのボックスから生まれました。大きくなったらじい



CM出演はこれで2回目。しばらくはメインキャラクターとして活躍が続きそう

ちゃんや父ちゃんとバイク売ろうかなあ、それともジュビロに入ってサッカーしようかな」というセリフと笑顔で、すっかりお店の人気者になりました。

まだまだ若い、というより幼い1歳半の三代目ですが、跡取りとして早くも両親の期待に応え、りっぱに役目を果たしているようです。

25年の時を超えてDT1クラブ誕生 ヤマハ本社にツーリングで来訪



メンバーの車両は、どれも25年前のモデルとは思えない保存状態。これにはヤマハスタッフもビックリ

ヤマハの名車、DT1が発売されてちょうど四半世紀。これを契機に全国のオーナーが集まりDT1クラブを結成、4月2～3日にはヤマハ本社(静岡県磐田市)を訪ねる「DT1里帰りミーティング」が開催されました。

この日集会所のヤマハマリナー浜名湖に集まったのは、東は群馬、西は兵庫県から駆けつけたDT1オーナー16名。顔合わせの後約40キロのツーリングを楽しみ、当時の開発スタッフ

が待ってヤマハ本社を訪れました。

開発スタッフとの懇親会では、オーナーのみなさんがDT1への偏愛歴を語れば、スタッフは当時の苦労話や裏話を披露するなど終始和気あいあいのムード。その後本社工場見学を楽しんで、再びツーリングに出かけました。

代表をつとめる鈴木正雄さんは「いずれはDT1ブックの出版も手がけたい」とヤル気まんまん。今後の活動が楽しみなところだ。

RACING

カダローラ、 タイトル奪取に向け まず手堅く2位発進

ロードレース世界選手権GP1クラスで、W・レイニーが不運なアクシデントにより戦列を離れたあと、ヤマハの新しいエースとして注目されたのがルカ・カダローラです。

開幕前のテストではマシンの調整が遅れているとワザされましたが、開幕戦・オーストラリアGPにはベストの状態で見込み、予選をコシンスキーに次ぐ2番手で通過しました。

決勝は、スタートに失敗して順位を



第2戦・マレーシアGPでは4位につけたカダローラ、ランキング3位の好位置でチャンピオンを狙う

落としたものの、そこからファステストラップを記録しながら追い上げ、13周目、ドゥーハンをかわして2位に浮上します。残念ながらトップのコシンスキーには届きませんでしたが、そのままポジションをキープしてゴール。チャンピオン奪取に向けて、まずは好調なすべり出しとなりました。

チームメイトのダリル・ビーティは6周目、バッテリートラブルでリタイアしています。

また、GP2のディフェンディングチャンピオン原田哲也は、予選初日の転倒で右手甲を骨折し、そのまま欠場。復帰は第3戦・日本GPとなる見込みです。

シュミット開幕Vで ランキングトップを快走

3月20日、スペインで開幕した世界選手権モトクロスは、250ccクラスでタイトルを奪回を狙うドニー・シュミットが、第1戦で総合優勝。続く第2戦・オランダGPでも総合4位に入りました。

昨年までの3ヒート制から2ヒート制に変わった今年、シュミットはまず緒戦・第1ヒートを3位でゴールすると、第2ヒートではアルバーチン、エバーツとともに激しいトップ争いの末優勝。

さらにオランダでは、表彰台こそ逃しましたが両ヒートを4位、6位でまとめ、ランキング2位に上がってきたアルバーチンと4ポイント差でトップをキープしています。

「このオランダのコースは、ボクにと

「脱バイク屋」宣言

ショップイメージを高める高級感のトータル演出



入口を入ってすぐ左手のウィンドー際がホットコーナー。売れ筋のスポーツバイクが並び、壁のスペースにはさりげなくケン・ドーンの絵が…

商品価値の高さに合わせた店舗で昔ながらのイメージを取り除く

梅内社長は、自分の店が「バイク屋」と呼ばれることに抵抗がある、という。受け取り方にもよるが、このことには、オイルにまみれ、バイクやパーツが所狭しと並んだ旧態依然たるイメージが強く残っているからだ。「われわれが扱っているのは、一台50万から100万円もする高額商品なんです。それなりの価値にふさわしい店舗、展示・演出方法を工夫しなければ、お客さんはお金を払ってくれなくなってしまう。同じ趣味のものを扱う店なのに、宝石店やファッショントイックとバイクショップではどれだけ差があることか。

そこで、YSP船橋東を移転することになった時、できるだけバイク屋らしくない店にしようと考えたんです」

ところが、この新店舗用に選んだ場所はマンションの1階。駅に近く、人通りも多い恵まれた立地にあるのだが、歩道ぎりぎりに建つ建物のなかでオープンスペースをどうするか、2m弱しかない天井の低さをどうやって解消するかが先決問題となった。

「オープンスペースは、人目を引くために必要なので、店内が少し狭くなるけれどウィンドーやドアの位置を一回り奥にとって確保しました。

天井はね、いろいろ考えた結果、全部取り払って最大限に使うことにしました。そうすると、デコボコのコンクリート面や配線、配管などがむき出しになるんですが、それならいっその内装もすべてロフト風にしてしまえばいいじゃないか、と……」



サービス工場も、見られることを考えていつもピカピカ。こぼれたオイルが笑顔を損ねたり靴の裏について店内に持ち込まれないよう、整備中のマシンの下に段ボールを敷きオイルを吸い取らせる工夫も…



主婦をはじめとするファミリー層の来店促進には、オープンスペースでの展示が不可欠。といって、歩道にはみ出しては逆効果。そのため、本来の店舗スペースを3m程度後退させて確保した



YSP船橋東／梅内一社長・千葉県船橋市

千葉県内にYSPを3店舗展開する、株式会社モトプラザのひとつ。道路拡張計画のため、昨年6月、新京成・北習志野駅の近くに移転した。店舗は、交通量の多い生活道路にはさまれた角地で、マンションの1階。周囲の新興住宅街に住むファミリー層から若い社会人、日大、順天堂大などに通う大学生まで幅広い。中心は25歳前後●創立：1989年5月●敷地：50坪、ショールーム：25坪、サービス工場：9坪、オープンスペース：13坪、倉庫：3坪●展示台数：店内10台、店外20～25台●販売構成：スクーター70%、スポーツ30%●サービス資格：YTSダブルスター、認証資格は新基準施行時に取得予定

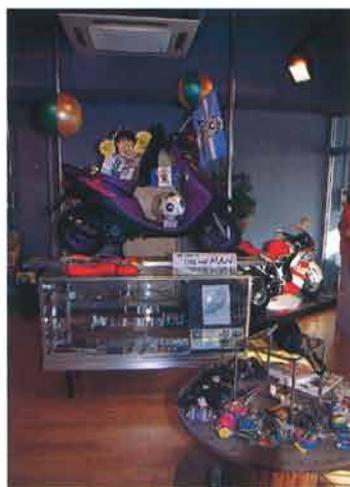


ゆったり、落ち着いた雰囲気仕上げられたショールーム。天井にパネルを張ると低過ぎるため、コンクリート地を生かした形で塗装し内装を統一。スポットライトも違和感なく収まった



床は質感を優先して天然木の板張り。このほか、改装費の総額は約1500万円

店内のアクセントとして大きな役割を果たしているのが小物テーブルと立体展示台。どちらも工業用なので安価で手に入る。特に展示台は、支柱2本と横板1枚で1万円弱とか…



シンプルさが特徴のロフト風内装で高級感のある展示・演出を行なうには、まず内装材や照明の善し悪しが重要なポイントとなる。そこで梅内社長は、改装を行なう店舗設計会社と相談しながら、多少お金がかかってもチープにならない素材、方法を選んだ。

例えば壁は、日に灼けたり変色しやすい壁紙を使わず薄いブルーグレイの塗装とし、床は丈夫でシックな天然木材のフローリング。照明も蛍光灯を使わず、展示車を美しく輝かせるスポットライトで統一した。

「床のビニールパネルとか壁紙は、せいぜい3年が限度。それでまた張り替えたりするよりは、しっかりといいものにして10年もたせればいいと思うんです」

内装から展示・演出まで トータルにコーディネート

そのうえで、商品の配置や展示もきわめてシンプルにコーディネートされているが、とすれば平板になりがちな店内にアクセントを加えているのがオリジナルの什器。建築現場で足場を組むのに使われる鉄骨材と送電線ロールの廃材を利用したショースタンドだ。

さらに彩りにも工夫がある。バイク本体はもちろん、ヘルメットまで売れ筋の商品はみんな黒系統ばかり。放っておくと店内が暗くなってしまうので、意識的にカラフルなオフロード用品とかちよっとした小物を並べたり絵を掛けたり、細かな気配りを欠かさない。

それでも満足度は80点とか。今後はプロジェクター式のAVシステムを入れて、映像、音響による演出も検討中である。



用品コーナーは、柱とその陰に隠れたスペースを利用。ここにも建築用の鉄材で組んだ棚を什器に使い、空いた壁面はジュビロの旗とケン・ドーンの絵を配してシャれた雰囲気を醸し出す

トピックス in Color



人気のXJR1200は、市街地での取り回し、扱いやすさに驚いたと話す人が多かった

ニューモデル展示試乗会で XJR1200に、TZM50Rに お客さまの手応え十分!

3月、4月という最大の需要期を迎えるにあたって、東京地区のヤマハ各営業所では千葉県八千代市、埼玉県大宮市、神奈川県・中郡、東京都・葛飾区、長野県松本市に5ヶ所の会場を設定し『94春のヤマハニューモデル・大展示試乗会』を開催。それぞれ大勢のお客さまにぎわいました。

なかでも、3月21日の大宮営業所会場は大盛況。折からの好天にも恵まれて午前中から延べ250名ものお客さまが詰めかけ、ズラリ並んだ展示車、試乗車の回りを取り囲んで、情報交換し合う姿が数多く見られました。

特に人気だったのは、やはりXJR1200。試乗用に用意された3台が常にフル回転しても、順番待ちが切れないほど。限定解除したばかりというお客さまは、「これから買いたいバイクのひとつ」と話し、真剣な表情で展示車を見つめていました。

さらにTT250Rレイドは、展示だけの予定が、熱心なお客さまのリクエストでいつの間にか試乗に加わるハプニング。毎年北海道に行くので、ゼ

ひ欲しいという声も聞かれました。

これからゴールデンウィーク、夏休みと続くレジャーシーズンに向け、大きく弾みをつけるイベントとなったようです。



大宮近郊は、ミニバイクレースが盛んな土地柄だけに、TZM50Rへの注目度も高い



TT-Rレイドを囲み、係員の説明に耳を傾ける熱心なファンもいた



発売後1年たつとはいえ、ネイキッド400人気の中心はXJR400

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社